

地域包括ケアシステム

幸齢者 応援のまち

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように、高齢者を地域で支える体制づくり「地域包括ケアシステム」が必要となります。地域住民が主体となった生活支援・介護予防サービスの充実のため、市及び各町に協議体を設置し、「生活支援体制整備事業」に取り組んでいます。その中で、活動拠点を開所された朝日町の取り組みをご紹介します。

TEAM

つながる 朝日

地域の「縁側」のような あたたかい場所を目指して



この拠点は町民の方から提供いただいた空き家を改修しました。クリーム色の壁が目印です！

場所：朝日町大字甘久 2712 番地
朝日公民館より徒歩3分



オンラインで研修を受講。
LINEアプリの使い方についての
研修も行われました。

助け合い、 支え合う 地域づくり

“つながる”をキーワードに支え合いの「輪」をつくる。

拠点を中心に、地域サロン・ボランティア連絡協議会・老人クラブ等、各々の強みを生かし、一体的に地域住民を支えるネットワークづくりを進めます。今後、各団体への説明会や広報紙で認知度を高め、具体的な活動を進めていく予定です。皆さまのご協力とご理解をお願いいたします。

詳しくは

朝日町第2層協議体
TEAM **つながる朝日**

会長 中尾 泰文
コーディネーター 下平 正樹
健康課 ☎0954-23-9135

NEWS

他町と意見交換しました！



山内町第2層協議体が朝日町の拠点を視察されました。町内の情報交換だけでなく、他町との意見交換の場にも活用されています。

今後の活動のために情報共有！



地域で支え合い活動を実施するため、ワークショップが行われました。どんな支援が必要か等、様々な意見が出され、今後の活動に活かされます。

生きがいがづくりでいつまでも元気に！



みなさんと蓮の花を作られました。手を動かしながら会話も弾み、交流を深められました。

活動を紹介していただきました！



かんころの家での取り組み「かんころ号送迎サービス」の特集記事が、佐賀県のホームページに掲載されました。



◀ 県ホームページ